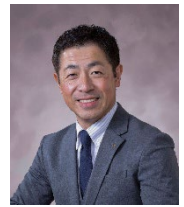




2025～26 年度
国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

Weekly Report Niigata



2025～26 年度
新潟ロータリークラブ会長
佐藤 邦栄

新潟 RC 6 月第 2 例会 (2026.6.9) No.3605

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間 (佐藤 邦栄会長)

年度当初より、会長の時間はロータリーの話だけを買ってきましたが、本日は、違うテーマでお話をご容赦ください。ご承知の方も多いと思いますが、6月11日～14日の日程で、国際青年会議所 (JCI) の ASPAC 新潟大会が開催され、私は運営で深く関わっていますので、ご紹介させていただきます。JCI は、1915 年にアメリカで誕生し、「奉仕、修練、友情」を基本信条に「明るい豊かな社会の実現」を目指す組織で、世界約 110 の国と地域に 14 万人以上の会員を擁し、日本では 700 の青年会議所に約 24,000 名が在籍しており、メンバーの多くは地域経済の第一線で活躍する 20～40 歳の青年です。新潟 RC の会員にも、青年会議所の OB が多く在籍しています。ASPAC (JCI Asia-Pacific Conference) は、JCI が世界 4 エリアで開催する地域会議の一つで、アジア太平洋エリア会議を指します。過去には山形 (2014 年)、鹿児島 (2018 年)、堺高石 (2022 年) など日本国内でも複数回開催されてきました。会場は、朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター 会議、フォーラム、パーティーが開催されます。参加国数約 50 カ国、参加者数約 8,000 人 (うち海外から 3,000 人) で、約 13～14 億円の経済効果を見込む、新潟県内の国際会議において過去最大規模となります。大会を通じて「新潟のブランディング」「国際都市への変革」「国際ビジネスの契機」

「青少年の国際交流推進」「市民のシビックプライド醸成」という 5 つの効果が期待されています。これらを達成するため、世界へ新潟を PR する 3 つの仕掛け (イベント) が用意されています。

新潟の「食」の発信 (新潟ガストロノミーの体験) 万代島多目的広場「大かま」、新潟駅周辺、古町エリアを会場とし、8 店舗の出展と提携飲食店が連携します。参加者へランチクーポンを提供することで、名物料理をはじめとする新潟の食文化を発信するとともに、街の回遊性と賑わいを創出します。

新潟の「観光」を体験 (エクスカージョン) 新潟県全域の観光地、産業、伝統文化を巡るツアーを実施します。魅力的な資源に触れる貴重な体験を提供することでリピーターを獲得し、地域への還元を狙います。

新潟の「産業」を発信 (ビジネスマッチング: にいがた EXPO) 6 月 12 日～14 日に朱鷺メッセのエスプラナードにて、約 100 社規模のトレードショーを開催します。出展企業が製品やサービスを PR することで新潟の産業を発信し、国際的な取引や連携を促進して地域経済の活性化につながるビジネス機会を創出します。

ここまでは、青年会議所会員対象の事業であり、皆様にはあまり関係ないと思いますが、ASPAC と同時に、青年会議所 OB を中心とした、「ウルトラスパーク」という事業が開催され、皆様のご参加も可能ですので、ご紹介させていただきます。

6 月 13 日・14 日、新潟市内 (にいがた 2km 中心) にて大型イベント「NIIGATA ULTRA SPARK (ウルスパ)」が同時多発的に開催されます。国際会議「ASPAC」の新潟開催に伴い、世界中から集まる約 8,000 人を迎える千載一遇の好機として、経済・観光・文化の発信や国際交流、そして都市の魅力を再発見する壮大な社会実験として実施されます。期間中は各エリアで多彩なイベントが展開されます。白山公園では、1,000 個以上の風鈴が飾られる「七夕風鈴まつり」、古町では「フルマチスパーク」や酒場空間となる「古町横丁」、本町では灯ろうが彩る「千灯まつり」が開催されます。やすらぎ堤周辺では、アウトドア空間「ミズベリング」やアーティスト「HY」らによる無料の「PEACE BANK」ライブ、盆踊り「VIVA BON 2026」が行われます。さらに万代ではチーム演舞の「ウルスパ総踊り」や「全国大陶器市」が、その他にもガンダムのポップアップやプロジェクションマッピング、EV トウクトウクの周遊レンタルなど、街全体がフェス空間に変わります。

また、商業の谷間である 6 月を盛り上げる市民参加型セール「NIIGATA ORANGE WEEKEND」を同時展開し、新潟三越伊勢丹や COCOLO 新潟、原信などの商業施設と連携した抽選会や優待企画が行われます。

さらに、新潟をウォーカブルシティ（歩きやすい街）にすることや交通渋滞の回避、健康促進を目的とした企画「アルスパ!!」も実施されます。これは健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」を活用した巨大デジタルスタンプラリーで、新潟駅から万代、古町までのイベント会場を歩いて巡りスタンプを集めることで、先着5,000名に豪華景品が当たる抽選権が付与されます。これに伴い、バスのデジタル一日乗車券の割引キャンペーンも実施され、主催者は街をたくさん歩いて楽しむことを呼びかけています。

新潟市が国際都市として、とても賑やかな週末になると期待しております。会員の皆様には、是非、「ウルスパ」と検索していただき、興味のあるイベントに参加いただくようお願い申し上げます、会長の時間とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

(3) ビジターの紹介

- ・大谷 昭子君（新潟南RC）

(4) 退会ご挨拶（会長よりバナー贈呈）

- ・日本放送協会新潟放送局局長 大竹 岳史君
- ・日本銀行新潟支店長 平形 尚久君

(5) 織戸 潔米山記念奨学委員長報告

5/31時点での、当クラブの寄付実績を発表致します。個人特別寄付割合は、66.7%、個人平均寄付額は、14308円です。順位は、2560地区54クラブ中、26位となっております。今年度もあと残り少なくなり、最後の追い込みですので引き続き、ご寄付のご協力を宜しくお願い申し上げます。米山記念奨学委員の役割は、「単なる集金係」ではありません。米山奨学事業の目的を丁寧に説明し、理解促進を図ること。そして、米山奨学生と、クラブ会員、カウンセラーとの架け橋として、円滑なコミュニケーションを促すこと。新年度は、特に、SAAと相談し、例会出席における米山奨学生・カウンセラーの席の配置を工夫したり、米山奨学生にもお手伝いをお願いしたり、奨学生の役割（卓話以外）についても考えて参ります。

(6) 健康麻雀同好会報告（本多 晃）

・2026年7月7日、例会終了後、イタリア軒地階に於いて第1回、健康鼓麻雀同好会を開催致します。お申し込みは本多までお願い致します。

(7) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

- 大竹 岳史君 坂井 賢一君
- 岸本 幹生君 永井 修君
- 本多 晃君

米山奨学会寄付発表(織戸 潔委員長)

- 石川 治孝君 徳永 昭輝君
- 織戸 潔君

青少年育成基金寄付発表（栗原 美樹委員長）

- 島田 好久君 本間 彊君
- 徳永 昭輝君 栗原 美樹君

(8) ニコニコボックス紹介（久保 貴義委員）

- ・平形 尚久君 2年間、ありがとうございました。楽しかったです。
- ・大竹 岳史君 誕生日のワイン、ありがとうございました。また、今日が最後の例会出席となります。本当にありがとうございました。
- ・宮島多佳子君 お誕生日祝のワインありがとうございました。
- ・本多 晃君 結婚記念日のお花有難うございました。33回目でした。当日は当番でしたので本日、うめあわせでお出かけします。

- ・石橋 正利君 新潟ローターアクトのみなさんに例会で講話を頼まれ、させてもらいました。上司に仕える仕事から志に取り組む志事（しごと）に視点を変えてもらえました。ニコニコします。

(9) 親睦月間に因む会員スピーチ

「親睦活動の歴史と意義」

杉村章親睦副委員長

(10) 6月9日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
80	80	52	65.00%

Zoom参加 3名

6月16日の例会プログラム

会員スピーチ

「天命完遂に向け、

笑顔で喜寿（77歳）の今を生きる！」

石橋正利新潟総合研究所取締役会長

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>